

令和7年度 第1回 市川市自立支援協議会 次第

1 日時

令和7年12月22日(月) 10時00分から12時00分まで(予定)

2 場所

市川市急病診療・ふれあいセンター2階 第1・2集会室

3 議題

議題	資料	ページ	目安
(1) 連絡・報告事項			10時10分～
① 次期千葉県障害者計画策定に係る意見聴取の依頼への回答について	①回答案	3	(5分)
② 「市川市指定障害福祉サービス事業所家賃等補助金」及び「市川市社会福祉法人指定障害福祉サービス事業所家賃等補助金」の改正案について	②改正案	6	(5分)
(2) 各部会等の状況について			10時20分～
① 相談支援部会	①開催概要	7	(10分)
② 生活支援部会	②開催概要	13	(8分)
③ 就労支援部会	③開催概要	15	(8分)
④ こども部会	④開催概要	17	(8分)
⑤ 障害者団体連絡会	⑤活動報告	19	(8分)
⑥ 基幹相談支援センター運営協議会	⑥開催概要(当日配布)		(8分)
(3) 協議事項(課題等)			11時10分～
① 施設長、経営者向けの働きかけについて			
② 自立支援協議会のホームページ作成について			

	氏名		所属	分類
1	朝比奈 ミカ	あさひな みか	社会福祉法人一路会 (がじゅまる+)	相談支援事業者
2	芦田 真伍	あしだ しんご	特定非営利活動法人ほっとハート (基幹相談支援センターえくる)	相談支援事業者
3	石井 仁美	いしい ひとみ	一般財団法人市川市福祉公社 (一般財団法人市川市福祉公社)	相談支援事業者
4	岡部 元輝	おかべ もとき	社会福祉法人いちばん星 (いちばん星相談支援事業所)	相談支援事業者
5	佐藤 京子	さとう きょうこ	特定非営利活動法人ほっとハート (ほっとハート相談支援事業所リンク)	相談支援事業者
6	田邊 勝	たなべ まさる	社会福祉法人市川レンコンの会 (相談支援事業所サポート・レンコン)	相談支援事業者
7	石井 なお子	いしい なお子	一般財団法人市川市福祉公社 (一般財団法人市川市福祉公社)	サービス事業者 (訪問系)
8	森田 美智子	もりた みちこ	社会福祉法人いちばん星	サービス事業者 (日中活動系)
9	岩崎 淳	いわさき じゅん	社会福祉法人一路会 (グループホーム等支援ワーカー)	サービス事業者 (居住系)
10	永井 洋至	ながい ようし	アクトレゾナンス合同会社	サービス事業者 (地域生活支援事業)
11	鎌田 成泰	かまた なるやす	特定非営利活動法人いちされん (市川市障がい者就労支援センターアクセス)	就労支援関係者
12	日比谷 美代子	ひびや みよこ	合同会社自立支援 (ジョブズクラブ・フローラ)	就労支援関係者
13	久保 好子	くぼ よしこ	障害者団体連絡会 (市川市視覚障害者福祉会)	障がい者団体
14	田中 大三	たなか だいぞう	障害者団体連絡会 (市川市ろう者協会)	障がい者団体
15	山本 邦昭	やまもと くにあき	障害者団体連絡会 (そよかぜの会)	障がい者団体
16	西野 亙	にしの わたる	障害者団体連絡会 (心の健康を守る会家族会 松の木会)	障がい者団体
17	諸谷 加寿代	もろや かずよ	障害者団体連絡会 (市川手をつなぐ親の会)	障がい者団体
18	小泉 好子	こいずみ よしこ	障害者団体連絡会 (千葉発達障害児・者親の会「コスモ」)	障がい者団体
19	山崎 泰介	やまざき たいすけ	社会福祉法人市川市社会福祉協議会	権利擁護・地域福祉関係者
20	坪井 幸恵	つばい さちえ	市川市民生委員児童委員協議会	権利擁護・地域福祉関係者
21	徳江 美由起	とくえ みゆき	社会福祉法人春濤会 (こども発達支援センターやわた)	障がい児支援関係者
22	千葉 千江	ちば ちえ	須和田の丘支援学校	障がい児支援関係者
23	小松 秋津	こまつ あきつ	千葉県市川健康福祉センター(市川保健所)	精神保健福祉関係者
24	高木 憲司	たかき けんじ	和洋女子大学家政学部家政福祉学科	学識経験者

次期千葉県障害者計画策定に係る意見聴取調査票

千葉県健康福祉部障害者福祉推進課（共生社会推進室）行き
(E-Mail cplan@mz.pref.chiba.lg.jp)

提出日	令和7年12月 日
協議会名	市川市自立支援協議会
共同で協議会を設置している場合、共同している市町村名	
担当者等	所属名：市川市福祉部障がい者支援課 担当者名：石田 電話番号：047-712-8516 E-Mail：shogaishashien@city.ichikawa.lg.jp

【設問は以下の2点です。】

1 現在の障害者施策で特に課題と考えること及びその理由。また、各自立支援協議会において行っている取組（特徴的な事例や他の市町村等の参考となる事例）について。

2 次期千葉県障害者計画で特に期待することや取り組んだ方が良いと考える施策及びその理由。

また、県障害者施策についてお気づきの点等ございましたら併せて記載してください。

※記載量に制限はありませんが、できる限り要点を絞って記載してください。
※整理のため、以下の【記載例】の形式で記載をお願いいたします。

【記載例】

1 現在の障害者施策で特に課題と考えること及びその理由。また、各自立支援協議会において行っている取組（特徴的な事例や他の市町村等の参考となる事例）について。

〇〇〇について、〇〇〇が支障となっていることから、〇〇〇とすることが課題です。当圏域では、〇〇と連携して〇〇を行うなどの取組を行っています。

2 次期千葉県障害者計画で特に期待することや取り組んだ方が良いと考える施策及びその理由。

〇〇〇について、〇〇〇であることから、〇〇〇を〇〇〇とするため、〇〇〇に取り組む必要があります。

【次頁から記載欄】 ※ページが不足する場合は追加してください。

【記載欄】

1 現在の障害者施策で特に課題と考えること及びその理由

- (1) 障がい者の重度化・高齢化や親亡き後への対応。
- (2) 重度の障がい者や精神障害のある方などを受け入れることができる共同生活援助事業所の不足。
- (3) 強度行動障害のある方への支援の困難さ、受入施設・事業所の不足。
- (4) 医療的ケアを必要とする方や重症心身障害がある方向けの短期入所事業所、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、生活介護事業所等の不足。
- (5) 指定特定相談支援事業者、指定障害児相談支援事業者の不足。
- (6) 障害福祉サービス事業者の職員の確保が進まないこと（看護師の不足など）、サービスの質を向上させる仕組が不十分であること。
- (7) 福祉避難所の整備等の災害時支援が不十分であること。
- (8) 障害福祉サービスなどの公的サービスにつながらない方を支えていく仕組の不足。
- (9) 障害当事者とのコミュニケーションの不足（障害当事者との情報共有の不足）。
- (10) 根強い偏見

社会の理解不足・偏見・障害者に対する誤解や偏見、知識不足が依然として根強く、施設の設置に対する地域住民の反対などが起きているため、さらなる理解・周知に取り組む必要があります。

- (11) 指定特定相談支援事業者、指定障害児相談支援事業者の不足（セルフプラン率）
- (12) 障害者就労施設の工賃が低く、経済的な基盤を確立できていない。
- (13) 障がいに対する理解が広まらず、偏った考えを持ってしまう。
- (14) 制度が多岐にわたっていて難しい。事業者も理解できていない。
- (15) 移動支援事業所の不足。
- (16) 児童発達支援センターの中核的な役割について、中核的な支援機能を発揮するための研修等の機会がないことが支障となっており、千葉県主催の研修機会を創設することが課題。
- (17) 本市では、児童発達支援センター等連携会議や地域障害児支援体制強化事業を活用するなどの取組を行っている。
- (18) 本市では医療的ケア児等コーディネーター事務局を行政の中に設置して、民間事業所と連携をしながらコーディネーターとしての取り組みを行っているが、行政は職員の退職や異動があることから、安定した運営が難しい状況にある。相談支援専門員や、その他関連専門職もコーディネーターと同様の業務を行い、対応はしているが、今後は民間事業所も含めコーディネーターの担い手を増やすために、県主催のコーディネーター研修を毎年実施してほしい。

2 第九次千葉県障害者計画で特に期待することや取り組んだ方が良いと考える施策及びその理由

- (1) 障害福祉サービスについて、地域間で提供体制やサービスの量に大きな格差があり、市町村の財政力格差が影響している。近隣の東京都との賃金・報酬の格差があるため、人材確保・補助金の創設に取り組む必要があります。特に、セルフプランの適正化に向け、相談支援事業所に対する県独自の加算、報酬増額の施策を希望。
- (2) 重度の障がい者の対応について、サービス利用者の重度化が進む中で、これに対応できる事業所や人材が不足しており、重度化に対応できる入所施設やグループホームへの支援に努める必要があります。東京都と隣接する市において、土地の価格が高いこ

とが、グループホームの新規開設の障壁となっているが、社会福祉施設等施設整備費補助金は県内のどの場所においても一律の補助率となるため、地域差を考慮したものとしてほしい。

- (3) 強度行動障害のある方等に設備的にも個別的な配慮を要するため、入所・入居系（暮らしの場支援会議に係る補助金）だけでなく、通所系事業所の整備費用も必要と認識している。区分軽度の方と重度の方が混在することもあるため、個室の整備等に対し、補助を検討してほしい。
- (4) 医療的ケア児者や重症心身障害児者を受入れるに当たっては、建物設備が重要となる。入所施設については、国は増やさない方向性としているが、医療的ケア児者や強度行動障害のある方については、状態を整えるための（一定期間の）入所施設は必要と考えるため、障がい者の重度化を視野に、目的を明確にした入所施設の整備について、県を通じて国へ要望してほしい。
- (5) 障がいのある人が就労によって経済的な基盤を確立するため、優先調達推進法を広く浸透させることで、障害者就労施設の需要を増進し、その経営基盤を強化する。
- (6) 障がい者の就労が進むことで、金銭管理の担い手が必要となっている。社会福祉協議会による金銭管理を含め、担い手の更なる拡がりに繋がる施策を希望。
- (7) 事業所の周辺だけでなく、全ての人が障がいを身近に感じるような周知方法を考える。また、過剰な合理的配慮により企業の負担が増加しないよう検討が必要。
- (8) 事業者や自治体職員に対する加算などの研修を実施。
- (9) 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数が増加する中で、申請者の利便性を向上及び市町村における事務の負担軽減のための電子申請導入の推進。
- (10) 障害児通所支援事業所従事職員への質の向上のための研修の実施。
- (11) 学校との連携について、個別サポート加算Ⅲや保育所等訪問支援、障害児通所支援を利用する医療的ケア児のスクールバス乗車などで、教育と福祉の分野でより強固な連携が必要なことから、インクルージョンを推進するためにも、福祉分野の支援内容を積極的に説明していく必要がある。
- (12) 保育所等訪問支援について、訪問支援員を幼稚園や保育園で支援の補助に利用したり、訪問先での直接的な療育支援を実施したりしていることから、本来の目的からずれる利用があるため、保育所等訪問支援の支援内容の確認をしていく必要がある。
- (13) 住宅確保要配慮者や一人暮らし、身寄りのない障がい者などの、居住支援について取り上げてほしい。千葉県すまいづくり協議会居住支援部会が設置されているが、多分野、横断的な取組の推進を希望。

以上

「市川市指定障害福祉サービス事業所家賃等補助金」及び
「市川市社会福祉法人指定障害福祉サービス事業所家賃等補助金」の改正案について

市川市障がい者支援課

標記の補助金につきまして、現在、下記のとおり制度の改正を検討しています。

1. 補助金の概要

生活介護、自立訓練、就労継続支援又は児童発達支援を行う事業者の経営支援を図ることを目的に、事業を行うための建物などの賃借に要する経費や、事業を開始するための備品の購入、建物のバリアフリー化に要する経費を補助するものです。

2. 補助金の創設経緯

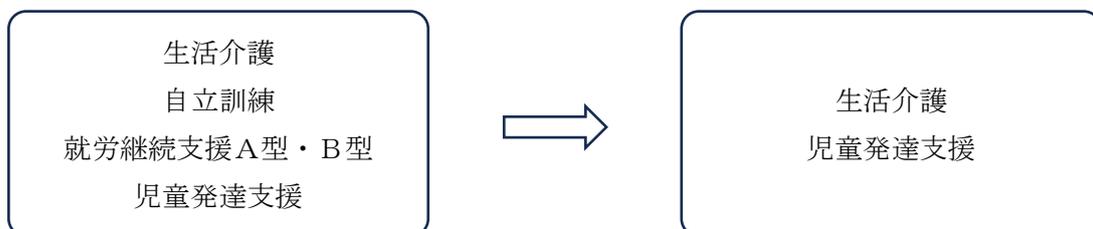
平成18年の自立支援法施行に伴い、旧体系サービスのうち「小規模作業所」と言われるサービスは、概ね5年の経過措置期間内に新体系サービスへ移行することとなったため、事業移行の円滑な推進を図ることを目的に、平成19年に、新体系サービスへ移行する事業所に対して家賃等を助成する補助金を創設しました。

3. 利用者の推移・見込

- ・ 利用者は、全サービスで増加傾向となっており、今後も増加が見込まれています。
- ・ 他サービスと比べると、生活介護と児童発達支援については、実利用者数に対する事業所数がやや少なめです（全ての利用者が毎日利用すると想定した場合）。
- ・ 自立訓練、就労継続支援A型及び就労継続支援B型については、市内において、必要な事業所数が整備されており、今後も同様の状況が継続すると見込んでいます。

4. 改正案

- ・ 令和8年度から、自立訓練、就労継続支援A型及び就労継続支援B型を補助対象外とします。
- ・ 令和7年度現在で補助を受けている自立訓練、就労継続支援A型及び就労継続支援B型の事業所については、現行どおり3年目まで補助を続けます。



5. その他

- ・ 本補助制度は本市独自のものであり、近隣の市では実施していません。
- ・ 令和8年度以降の障がい福祉に係る予算については、現在、本市で特に必要とされている、医療的ケア児者に対する支援や相談支援事業所における相談支援専門員の確保に対する支援に向け、重点的に財政部門と調整していく予定です。

相談支援部会 開催概要

開催概要	
R6年度 第5回 1月9日(木)	部会開催 10:00~12:00
R7年度 第1回 5月8日(木)	部会開催 10:00~11:50
R7年度 第2回 7月10日(木)	部会開催 10:00~11:50
R7年度 第3回 9月11日(木)	部会開催 10:00~12:00
R7年度 第4回 11月13日(木)	部会開催 10:00~12:00

1 課題・問題意識
セルフプラン率の高さ
2 短期的目標
<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援への理解を深める ・相談支援事業所の増設、相談支援専門員の増員
3 中・長期的目標
<ul style="list-style-type: none"> ・セルフプラン率の低減 障がい者 セルフプラン率 40% → 目標値セルフプラン率 35% 障がい児 セルフプラン率 84% → 目標値セルフプラン率 70% <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員の質の担保 ・人材確保
4 上記1を裏付けるデータ
厚労省障害者相談支援事業の実施状況等について 市町村別データ（令和6年3月末時点）より
5 上記1に対する方策・取組
【相談支援部会での取り組み】 ①令和7年1月9日相談支援部会にて令和6年度千葉県相談支援従事者現認研修（インターバル実地研修）の受け入れ。障がい者支援課より市川市の相談支援関係における課題や相談支援事業所の実地状況アンケートの報告を行う。 ②研修会の実施（2部制） 1部：令和7年度2月26日10:00～全日警ホール 「市川市における子どもの相談支援の実情と課題」 講師/和洋女子大学高木准教授 「札幌市における相談支援事業所の連携協定について」 講師/自閉症者地域生活支援センターなないろ相談室にじいろ 平松氏 2部：令和7年3月13日9:30～ふれあいセンター 「相談支援を利用するメリット、デメリットについて当事者に聞く」 「相談支援専門員と児童発達支援専門員の視点の違いを学ぶ」 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援の周知ポスターを作成中 ・相談支援事業所の新規受入れ情報の公開を予定

③研修会（2部制）実施予定

1部：令和8年1月19日10:00～全日警ホール

「市川市における子どもの相談支援の実情と課題」 講師/和洋女子大学高木准教授

「千葉市における一人事業所での事業展開について」 講師/しーさぽーと相談室石野氏

2部：令和8年2月13日9:30～全日警ホール

「相談支援を利用している当事者の話を聞く」

「相談支援専門員の見立て、方針決定までのプロセスを学ぶ」

④自立支援協議会への提案

・施設長、経営者部会の創設について。施設長、経営者部会を創設し、計画相談について事業の必要性、経営モデルの理解、人材確保について（有償インターン制度の導入、再任用職員人事交流制度の導入、一般職員人事交流制度の導入等）、地域課題について検討・共有して頂きたい。→自立支援協議会幹事会より「施設長、経営者向けの働きかけ」としてのプロジェクトの立ち上げでも良いのではと意見があった。

・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業より報告のあった件で警察からの23条通報が昨年の2倍で増加中と報告があった。県内でも市川・浦安地域が突出している状況。市保健所と警察、市町村、福祉関係者などの関係機関と協力して対応を検討していく必要がある。→自立支援協議会幹事会よりも包括で希望しているのは誰と何を課題として検討したいなのか？整理が必要。まずは地域生活支援拠点とにも包括での協議が良いのではないか。

6 取組の成果

前年度相談支援部会研修会をきっかけに相談支援事業所が2カ所開設した。

7 本会議や他部会・関連会議体に求めるもの

相談支援部会関連会議には2030プランにそった研修会の実施を依頼。

本会議には相談支援部会からの提案について協議、実施を依頼したい。

8 その他

9 関連会議の開催概要

9-1 IS-net

①幹事会

5月20日、6月20日、8月19日、10月31日

②医師意見書について、障害福祉サービスなどの更新時に必要な医師の医師の意見書を書いてくれる医師が少ないという課題について、障がい者支援課と医師会で課題の共有をしている。障がい者支援課より医師会へ協力依頼文を出し、医師会の議題にあげてもらった。また医師会を通し、各医療機関に協力依頼文の周知をしてもらう事になった。

②研修会

- ・令和6年2月4日「行動分析に基づく支援の組み立て」
講師/千葉県発達障害者支援センターCAS 田熊氏
- ・7月1日「相談支援専門員の業務とは」
講師/サンワーク相談支援事業所近藤氏
- ・9月25日「相談支援専門員に求めるもの」
サービス提供事業所職員との座談形式
- ・11月27日「精神疾患の基礎知識について」
講師/おでかけクリニック藤井 Dr
- ④事業所ツアー
 - ・令和6年2月19日 むうんはーと市川、リベルテ宮久保
- ⑤定期総会、情報交換会 5月28日13:30～

9-2 障害者権利擁護連絡会

- ①研修会 11月26日「障がい者の事例から学ぶ『成年後見制度』」
講師/がじゅまる+朝比奈さん、市川市後見支援センター山口さん
- ②定例報告会 令和6年12月10日、4月24日、6月22日、10月2日
内容：社協からの報告、市民後見人養成研修、
- ③家族会主催
 - ・令和6年3月5日 相談支援について 講師/ほっとハート佐藤氏
 - ・「成年後見基礎連続講座基本の基」 講師/社会福祉協議会山口氏
5月13日10時 成年後見制度や用語の説明
6月13日10時 事例を通して学ぶ
7月16日10時 1回目、2回目受講後の疑問点、Q&A
- ④後見セミナー
令和6年11月26日、令和7年11月26日

9-3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業

- ①ピアサポート活動打ち合わせ
令和6年12月9日 活動名称が『なかまの環』に決定
7月16日 勉強会
10月28日 中山病院 職員研修会
- ②実務者会議
 - ・令和6年12月16日 「体験の場」「地域移行等におけるアセスメントの場」
講師/社会福祉法人ひらいらレミナル遊牧舎 職員3名
・5月21日

③にも包括圏域打ち合わせ

4月25日、10月14日

④医療機関職員向け勉強会

5月30日中山病院、6月26日国府台医療センター

⑤にも包括研修会

7月10日「地域におけるにも包括の協議の場」「支援現場におけるクライシスプラン」

相談支援部会 2030プラン

【課題】

セルフプラン率が高い

【長期目標（5年）】

・セルフプラン率の低減

障がい者 セルフプラン率 40% → 目標値セルフプラン率 35%

障がい児 セルフプラン率 84% → 目標値セルフプラン率 70%

参考値（近隣市（松戸：者 33%児 69%、鎌ヶ谷：者 13%児 23%、浦安：者 20%児 26%）、障がい者サービス受給者数約 3,300 人、相談支援利用者数約 2,000 人、障害児サービス受給者数約 2,400 人、相談支援利用者約 390 人、特別支援学校生徒数約 700 人、あおぞら、おひさまキッズ待機者年間累計約 100 人）

・相談支援専門員の質の担保

【中期目標】

人材確保

相談支援専門員の研修を受講する為には3～10年の実務経験が必要。市内事業所で執務経験を積み、相談支援専門員の資格取得後にも市内で働き続けてもらえる事で相談支援専門員の数を増やして行きたい。また市内事業所を退職後も市内で働き続けられるきっかけ作りをしていきたい。

【短期目標】

・相談支援への理解を深める

市川市の障がい児相談支援についてのセルフプラン率はとても高い。その為、学校関係者や保育園、幼稚園関係者は計画相談のサービス内容を理解していなく、相談支援専門員と連携が取れていない状況がある。相談支援専門員の業務効率を上げる為にも計画相談への理解を深めていきたい。

・相談支援事業所の増設、相談支援専門員の増員

課題としてセルフプラン率の高さは周知の通りではあるが、特に障がい児相談支援、地域移行支援の利用者数が低い為、担い手を増やして行きたい。

【目標に対しての活動】

①相談支援への理解を深める。

相談支援についてのポスターの作成。保育園、幼稚園、学校に一斉配布。相談支援専門員が必要に応じて配布する。

②相談支援事業所の増設、相談支援専門員の増員

- ・相談支援事業所への補助金制度の要求
- ・相談支援部会主催の研修会

③相談支援事業所の安定した運営

相談支援事業所の新規受け入れの状況を公開

…公開方法については関係者向けにするか、市民も確認できるようにするか要検討。

④各関連会議で専門の研修を実施

相談支援専門員の質の担保を目的とした研修を実施

⑤人材確保

- ・自立支援協議会へ施設長、経営者部会の創設を提案。

施設長、経営者部会で検討、共有してほしい事

- a) 計画相談について事業の必要性、経営モデルの理解
- b) 有償インターン制度の導入
- c) 再任用職員人事交流制度の導入
- d) 一般職員人事交流制度の導入
- e) 地域課題

令和7年度 生活支援部会 開催概要

開催概要	
第1回部会 5月13日(火)	第3回部会 11月11日(火)
第2回部会 8月12日(火)	第4回部会 【予定】2月10日 (火)
1 課題・問題意識	
<p>【共通】</p> <p>①支え手の人材不足 ②支援力の向上 ③地域のつながり強化</p> <p>【各分野より】</p> <p>①精神障害、行動障害、重症心身障害、医療的ケア児者、高次脳機能障害など、各現場の支援から見えてくる課題の共有と、解決に向けた具体的な取組みが必要</p> <p>②事業種別によってはさらなるネットワークが必要な事業種別もある為（居宅介護、短期入所、地活など）ネットワークの必要性を含めた協議等が必要</p> <p>【部会として協議内容】</p> <p>①各関連会議からの活動報告、意見交換</p> <p>②地域生活支援拠点についてコーディネーターからの報告共有、意見交換</p> <p>③つながり交流研修に関する意見交換</p> <p>④参考として、ソナエプロジェクトの進捗共有</p>	
2 短期的目標	
<p>支援者同士の顔が見える関係性の仕組みづくり</p> <p>各分野においての支援力向上に向けた仕組みづくり</p>	
3 中・長期的目標	
<p>市川市における福祉人材確保に関する具体的な取組みの検討と協議</p> <p>市外からの福祉人材確保に対する具体的な取組みの検討と提言</p> <p>地域の支援力の向上に関する継続した仕組みづくり</p>	
4 上記1を裏づけるデータ	
<p>各関連会議からの報告</p>	

5	上記1に対する方策・取組 ★は今年度はじまった活動等
★今年度から部会開催頻度を年4回で調整。(昨年度までは年6回)	
【共通】	
①支え手の人材不足→未着手	
②支援力の向上→各関連会議にて研修等を実施	
③地域のつながり強化→つながり交流研修の実施。今年度は参加者進行参加型へ変更★(9月19日実施 約50名参加)	
【各分野より】	
各現場の支援から見えてくる課題の共有と、解決に向けた具体的な取組みの仕組み化が必要	
精神障害→市にも包括にて協議の場の設置がはじまる★	
行動障害→日中活動連絡会にて県16人研修修了者を中心に、法人を超え支援力向上につなげる仕組み(事例検討)の継続実施。今年度も新たな対象者への支援検討を実施。	
重症心身障害・医療的ケア児者→重心医ケア連絡会にて、医ケアコーディネーターや拠点事業所含め、現状把握と意見集約、緊急時に関する研修会を予定。普及啓発(マナフェス)を継続実施。人材確保のため、 <u>就職者への助成金制度(保育士の様な)設立に関する要望も出ている★</u>	
高次脳機能障害→高次脳サポート会議にて事業所紹介、事例検討の実施。家族交流会(年2回)の継続実施。今後家族交流会と同日に <u>当事者交流会★</u> も実施予定。	
居宅介護→居宅支援連絡会が活動再開。管理者向けの研修会を企画。障害者が利用できるヘルパー事業所の裾野を広げることとをまずの目的とし取組みを検討★	
GH→支援力向上のための研修等の実施。	
短期入所→拠点コーディネーターと基幹の企画にて初の市内短期入所事業所情報交換会を実施(10/30)。事業所同士の横のつながり作りへの取組みを実施★	
地活→メンタルサポートセンターを中心に主に精神障害を対象とした地活の情報交換、意見交換会の実施★	
8050→ソナエプロジェクトの現状共有と活用。 <u>プロジェクト発足後2つの新規グループホームにてGH利用希望者を受け入れ★</u>	
6	取組の成果
・各関連会議においての研修や事例検討により、支援力の向上につながっている	
・つながり交流研修についても多くの参加があり事業所間の連携のしやすさや、地域での仲間づくりを通じた人材定着や人材育成につながっている	
7	本会議や他部会に求めるもの
①自立支援協議会を活用し、人材確保や人材育成といった市内共通の課題について具体的に取組む仕組みの検討をはじめてはどうか?特に人材確保については具体的な取組がされていないと感じる。	
②つながり交流研修については今後は部会合同で企画実施していきたい	
③活動費等や市のバックアップが全くない会議体もある為(日中活動連絡会、居宅支援連絡会等)、今後も活動を継続していく為の方策について検討していきたい。	
④障がい者週間の周知について、市民へのさらなる周知を期待。	
8	その他
9	関連会議の開催概要
①重症心身障がい児者サポート会議:5/12、7/7、9/1、10/4(マナフェス)11/20、予定1/19、予定3/2	
②日中活動連絡会:6/16、8/18、10/20、11/20(事例検討会)12/15、予定2/16	
③グループホーム等連絡協議会:定期的に開催	
④居宅支援連絡会:7/10、予定1/10	
⑤高次脳機能障害児者サポート会議:5/27、7/25(家族交流会)、9/30、11/25、予定1/23(家族・当事者交流会)	

就労支援部会 開催概要

1 開催概要	
7月23日	令和7年度 第1回就労支援部会
2 課題・問題意識	
① 就労選択支援事業開始に伴う市内での円滑な利用方法の検討 ・令和7年10月1日より「就労選択支援事業」が開始予定。障がい者及び児童が円滑に利用できる体制構築を目指す。	
② 就労継続支援 A 型・B 型の連携について ・就労継続支援 A 型の安定した運営は地域貢献へ繋がる。そのため、A 型単独ではなく、A 型・B 型間で作業の協力を進めていく必要がある。	
③ 就労継続支援事業所の周知に関して ・就労継続支援事業所の内容や各事業所の特色を、高校生以下の方に広く周知することを目的とした後方活動を予定。 8/20（就労継続支援 B 型）及び 8/26（就労継続支援 A 型）に、市内事業所が市川大野高等学園へ集まり、来場者へ説明を行う。	
④ 高齢者への就労支援に関する意見交換 ・公共職業安定所の窓口や千葉県産業雇用安定センター利用に関する情報共有を実施。	
3 上記 2 に対する方策・取組	
① 令和7年8月中に制度の骨子作成を目標とし、市川市や地域の支援機関、特別支援学校との情報共有を進める。	
② 各事業所で実施している作業において、他事業所と協力することで有益になることがあるのか見当を進める。	
③ 開催案内の周知方法とゴール設定の共有化を図る。	
④ 高齢者の就労に関する周知可能な情報については、メーリングリスト等を活用し情報共有を図る。	
4 本会議や他部会・関連会議体に求めるもの	
○ 相談支援部会、生活支援部会との連携による研修会や情報交換会の開催。 ・新制度の開始や生活支援が重要視されている現状を踏まえ、就労部会単独の情報では不足するため、他部会との連携が不可欠である。	
5 その他	
あいあいパーク（令和7年7月12日） ※ 主に働いている障がい者の集い	
6 関連会議の開催概要	
6-1 就労支援担当者会議（就労移行支援事業：5/20）	
6-2 就労支援担当者会議（就労継続支援 A 型事業：5/21）	
6-3 福祉的就労担当者会議（5/14）	
6-4 福祉的就労担当者会議（7/16）	

就労支援部会 開催概要

1 開催概要	
11月26日	令和7年度 第2回就労支援部会
2 課題・問題意識	
① 就労選択支援事業開始後の現状報告と今後の取り組み	
・ 令和7年10月1日より就労選択支援事業が開始したが、現状では事業所が1カ所のみとなっている。混乱を避けるためにも、従来の直Bアセスメントと並行して進めている状況。 令和9年度からは直Aアセスメントも始まるため、正しい情報をしっかりと伝えていく必要性を感じる。	
② 利用者の適切なステップアップをどのように考えるか	
・ 就労移行支援：就労選択支援や直Bアセスメントを活用し、適切な通所へ繋げられるよう支援していきたい。 ・ 就労継続件：A型・B型利用者の滞留を防ぐための取り組みが必要ではないか。	
③ 就労継続支援の事業所数増加に伴う連携について	
・ 市内のB型事業所が増加している。横の連携を取りやすくするため、研修などを福祉的就労担当者会議で実施している。	
3 上記2に対する方策・取組	
① ・ 就労選択支援事業所の増加へ向け、地域事業所への働きかけを行う。 ・ 就労支援部会として当面の間、年間の利用者に対する数値目標を設定していきたい。	
② 若年層への情報提供と枠組み作り	
就労系福祉サービスの情報提供を高校生以下へ周知するための取り組みを継続して行う。 その中で、本人・家族・支援者の3者で適したサービス利用へ繋がる枠組みを作る。	
③ 新規事業所へ地域資源の理解を促すため、各機関担当者から話をしてもらい取り組みを継続していく。	
4 本会議や他部会・関連会議体に求めるもの	
○ 相談支援部会、生活支援部会との連携による研修会や情報交換会の開催。 ・ 新制度の開始や生活支援が重要視されている現状を踏まえ、就労部会単独の情報では不足するため、他部会との連携が不可欠である。	
5 その他	
あいあいパーク（令和7年9月13日） ※ 主に働いている障がい者の集い	
6 関連会議の開催概要	
6-1 就労支援担当者会議（就労移行支援事業：10/3）	
6-2 就労支援担当者会議（就労継続支援A型事業：10/2）	
6-3 福祉的就労担当者会議（9/17）	
6-4 福祉的就労担当者会議（11/12）	

こども部会 開催概要

開催概要

幹事会 11月21日(金) 15:00~16:45

児童発達支援センター連携会議 8月22日(金)14:00~16:30・12月5日(金)14:00~16:30

第2回こども部会 1月30日(金) 14:00~16:00 (予定)

1 課題・問題意識

①セルフプラン率の高さ

障害児通所支援の利用者が増える中、障害児相談支援は不足しており、依然としてセルフプラン率が高い。適切なサービス利用や支援のための情報共有、連携が図り難い状況が続いている。

②一般施策（幼稚園や保育園等）の後方支援の必要性

保育園、幼稚園等で支援が必要な子どもの受け入れが進んでいるため、支援内容や環境等について助言・援助等の後方支援の必要性が高まる中、園の中での保育だけではなく、児童発達支援との併用などが増えてきている。

③相談先の多様化複雑化

一般的な子育て相談だけでなく、発達に関する相談、障害児福祉に関する相談など、様々な相談機関や窓口があり、市民にとってはどこに相談すればわかりづらい状況が生じている。

④障害児通所支援事業所の質の課題

市の一覧表に掲載されている事業所数は、120か所を超えており、現在も増え続けている。その一方で、事業所の支援の質にはバラツキがあり、特に障害の重い子どもを受け入れられる事業所は限られている。また、中高生を受け入れる事業所が少ない。

2 短期的目標

- ・障害児支援に関わる全ての分野の関係機関や関係者との情報や課題意識の共有
- ・保育園、幼稚園等、学校における障害児の受け入れや支援体制の状況把握

3 中・長期的目標

- ・ワンストップ窓口を整備し、各機関やサービスに繋げる仕組みづくり
- ・障害児の支援体制の整備と活用（地域の障害児支援の質の底上げ）
- ・子どもに関わる全ての機関、関係者の連携協働体制の構築「切れ目のない支援体制」

4 上記1を裏付けるデータ

- ・障害児相談支援の利用率は、2割に留まっている。
- ・こども家庭センターは子育て相談、児童福祉を含めたワンストップ窓口になるのか？
- ・就園にあたり、療育を受けることが条件になるケース増、中抜け型のサービス利用増。
- ・市川市の障害児支援の事業所数は、120か所を超え、増加傾向にある。

5 上記1に対する方策・取組

①こども部会幹事会や児発センター連携会議において、情報共有と状況把握を行った。セルフプラン利用者へのサポートや、障害児通所支援事業所への支援、保育所等訪問支援の利用促進など、

センターの中核機能を充実する。

②児発センターの中核機能を周知するための媒体を検討し、年度内に公表する。

③こども家庭センターと障害児福祉に関連した相談、支援との連携について検討。

6 取組の成果

・児発センターへのセルフプランのサポート依頼は、微増している。また、相談支援部会で研修会を実施したことにより、障害児の計画相談を行う事業所数が増えた。

・保育所等訪問支援事業の実施事業所が増え、保育園幼稚園等への後方支援が広がっている。

7 今後の取り組み

・相談者が分かりやすく気軽に相談できるワンストップ窓口の検討。

・こども部会を通して、障害児福祉分野に限らず、保育、教育、保健等の関連機関において、障害児支援の状況把握や課題の抽出を行う。

・障害児支援の支援体制や児発センターの中核機能を周知し、積極的な活用を促進する。

・障害児支援連絡会とも連携して、事業所の支援の質の向上を図る。

9 関連会議の開催概要

9-1 重症心身障がい児者・医療的ケア児等サポート会議

①市内の医療的ケア児者及び重症心身障がい児者の実態の把握

卒業後の施設等サービス利用の確保

②地域課題に対する検討

a.短期入所等の受け入れ体制（梨香園で体験入所継続、大村病院が事業登録済）

b.人材確保（看護師、支援員のスキルアップ、3号研修・喀痰吸引等研修費補助制度）

c.災害対策（身近な資源を活用し施設内対策の共有を進める方針）

d.移動支援（通学時の移動支援活用について、事業者数の把握と利用促進が課題）

③制度施策に関する検討

a.地域生活支援拠点・市川市支援員制度の活用

b.地域ニーズに応じたサービス提供に向けて医療的ケア児等コーディネーターとの協業する

④啓発活動

重症心身障がい児者、医療的ケア児者の啓発イベント「マカイ2025」の開催、10月千葉商科大学

⑤研修会の実施

9-2 障害児支援連絡会

○「ライフステージを見据えた支援を行う」をテーマに、研修会を実施。市内の障害児通所支援事業所や相談支援事業所から、63名が参加。縦横の連携について、GWを実施した。

○令和7年度事業所合同説明会を開催。

南部：10月16日（木） 10:00～12:00 全日警ホール（25事業所） 107人参加

北部：10月21日（火） 10:00～12:00 行徳文化ホールI&I（30事業所） 182人参加

第十回定期総会

令和7年5月21日(水) 午後1:00～午後3:00

場所 :市川市勤労福祉センター・本館大会議室

1、開会宣言

2、挨拶 田中市長

3、来賓挨拶 福祉部 鷺沼部長

4、講習会

障害のある方(大人・小人)困りごとについての相談について

機関相談支援センター えくる 芦田真伍 氏

(休憩)

総会 議事 第1号議案 令和6年度活動報告の件

第2号議案 令和6年度決算報告の件

第3号議案 令和7年度活動計画(案)の件

第4号議案 令和7年度予算(案)の件

第1回本会議

報告事項

1、市川市より 令和7年度 防災訓練について

危機管理室 麻生理事 市川市の個別避難計画の作り方

2、市川市障害者団体連絡会より

参加団体紹介 ・日本てんかん協会千葉県支部

第2回 市川市障害者団体連絡会 本会議

日時：令和7年9月17日（水）13:00～15:00

場所：市川市急病診療・ふれあいセンター2F 集会室1・2

1. 勉強会 ICHICO（イチコ）活用法などについて

デジタル地域通貨推進課 岩澤様

2. 市からの報告事項

① 生涯学習情報の情報提供について 生涯学習振興課 岩沢様

② 令和7年度福祉避難所立ち上げ訓練について 福祉部地域共生課 山本様

令和7年10月28日（火）14時～15時 市川市妙典こども地域交流館

③ 令和7年度大規模災害対応合同防災訓練について

11月16日(日) 9:30~12:30

福栄小学校の啓発・展示ブースの参加、見学

3. 障害者団体連絡会の連絡事項

① 障害者週間について

② バリアフリーハンドブックの改訂について

4. 参加団体の紹介 ばらの会(あじさいの会) 重度身体障害者の会

令和7年度 第3回 市川市障害者団体連絡会 本会議

日時：令和7年11月19日(水) 13:00~15:00

場所：市川市急病診療・ふれあいセンター 2F 集会室1・2

1、勉強会及び意見交換会 「要配慮者に配慮した防災対策」

危機管理課 課長 山崎 裕幸様

危機管理課 主幹 近藤 勝様

危機管理課 鷲 英一郎様

危機管理課 宇佐見 立夏子様

① 福祉避難所 立ち上げ訓練について

10月28日（火） 14：00～15：00 会場：妙典こども地域交流館に参加

② 令和7年度大規模災害対応合同防災訓練について

11月16日（日） 9：30～12：30 南行徳会場：南行徳中学校、福栄小学校、

富美浜小学校 福栄小学校で、啓発・展示ブースを設置し参加

2、報告事項

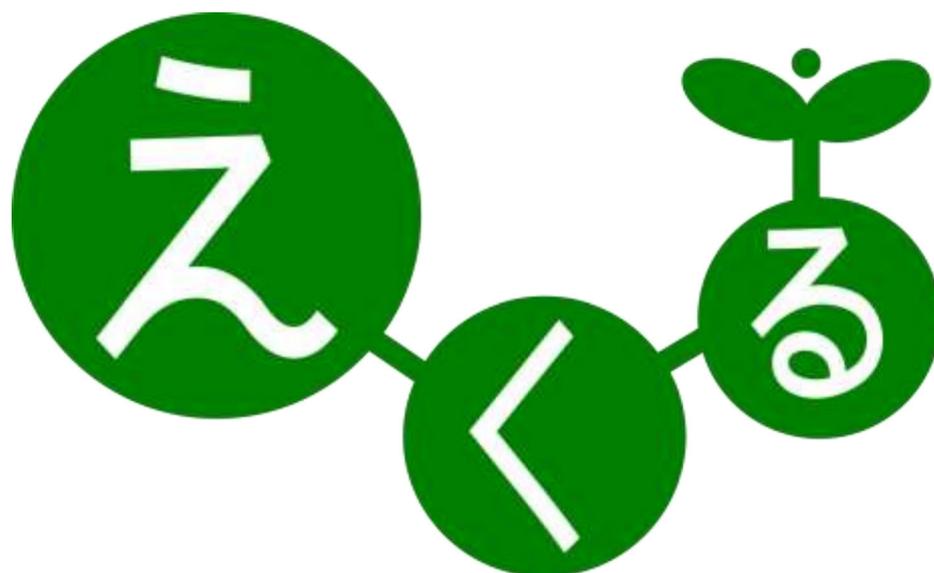
- ・千葉県障害者歯科センター開設要望書について

ヒロデンタルクリニック院長 浜田先生

- ・障害者週間について ・バリアフリーハンドブックの改定について

令和6年度 事業報告

市川市 基幹相談支援センター



えくる大洲ステーション
市川市大洲1-18-1
急病診療ふれあいセンター3階



えくる行徳ステーション
市川市末広1-1-31
行徳支所1階



1. 設置目的・概要

- 設置目的 障がいのある人及びその家族等に対して、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援、相談及び情報の提供や権利擁護の援助を含め、総合的な相談等を行うことにより、障がい者やその家族の自立と社会参加を促進し、地域住民の福祉の向上を図ること、また、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、地域の相談支援事業及びサービス提供事業所の人材育成、各種相談機関等との連携強化のための取り組みを行うことを目的としています。
- 開所年月日
平成29年4月より市川市急病診療・ふれあいセンター3階、市川市行徳支所内にて開始

2. 事業内容

- (1)総合的・専門的な相談支援
- (2)市川市障害者虐待防止センターとしての業務
- (3)サービス等利用計画案等の作成の支援
- (4)相談支援従事者の相談に応じ、必要な助言、指導その他の援助を行う業務
- (5)地域の相談支援体制の強化の取組
- (6)相談支援の質の向上に向けた研修の企画・実施
- (7)地域の相談機関との連携強化の取組
- (8)地域移行・地域定着の促進の取組
- (9)住宅入居等支援事業(居住サポート事業)
- (10)千葉県相談支援従事者初任者研修・現任研修への協力
- (11)委託者との情報共有
- (12)市川市自立支援協議会等への参加

3. 職員配置

受託法人:特定非営利活動法人ほっとハート

協力法人:NPO法人NECST・心ほっとケアサービス株式会社

職員体制

ソーシャルワーカー14名(常勤5名、非常勤9名)・非常勤事務員 2名

相談支援専門員 9名(うち主任相談支援専門員 3名)

社会福祉士 8名 精神保健福祉士 9名



R6年度の相談統計

相談の入口では、「本人」からの相談が最も多い。また全体の約45%が本人や家族からの相談になっている。関係機関としては障害福祉サービス事業所からの相談件数も多くなっているが、その他にも幅広く様々な関係機関から相談がきている。生活困窮者支援機関（そら）からの相談の割合も多くなっている。0歳から19歳までの相談者は全体の約15%になる。65歳以上の相談者については地域包括支援センターといっしょに支援に入り早い段階で引き継いでいくことも多い。

相談者数 ・ 新規相談：548名 / 合計相談人数:799名 / コンタクト数:16,709件



相談の入口（人数）

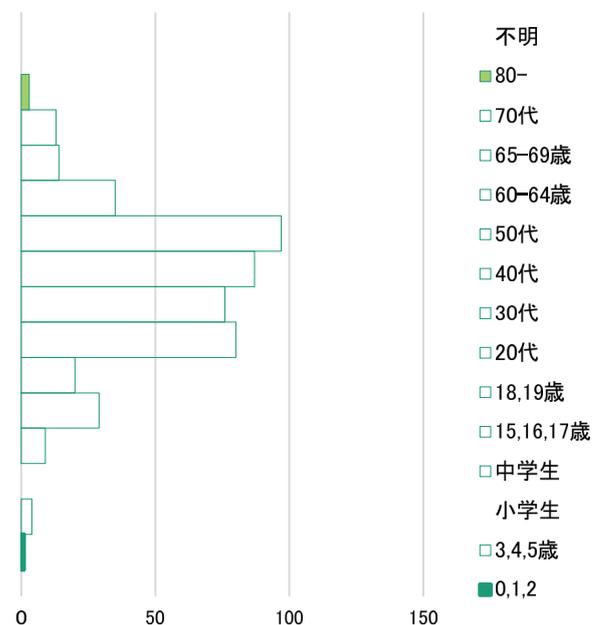


えくるを知った経緯 (本人、家族の直接相談)

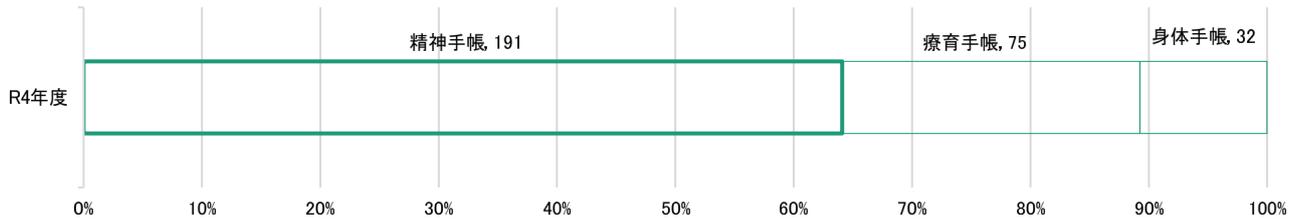
以前の相談者	8
家族	9
知人	11
インターネット	27
いちかわ便利板	2
ハンドブック	3
市民の意見箱	1
障がい者支援課	10
発達支援課	1
教育センター	1
生活支援課	3
介護福祉課	3
地域共生課	1
市役所	23
市外役所	1
公民館	2
計画相談事業所	6
障害福祉サービス事業所	18
CAS	1
医療機関	17
保健所	3

精神保健センター	2
市川市こころの健康相談	1
市外精神保健福祉センター	1
学校	3
スクールカウンセラー	1
児童相談所	1
そら	2
市外生活困窮	1
委託就労支援機関	2
就労予定先からの情報	1
千葉のひきこもり支援センター	2
ホットライン	1
松の木会	3
観の会	1
高サポ	2
介護CM	1
高齢者支援	1
千葉県若年性認知症コーディネ	1
市外基幹相談	1
不動産	1
不明	9

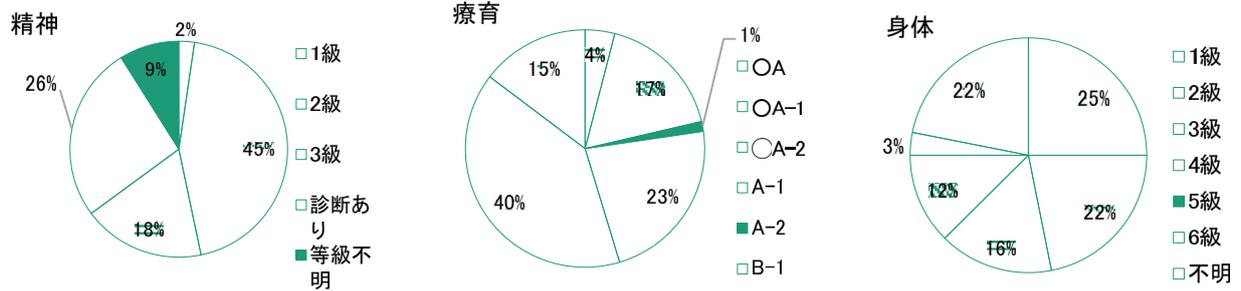
相談者の年代



新規相談時の手帳所持状況
(手帳所持者のみの内訳)



新規相談時の所持手帳の等級



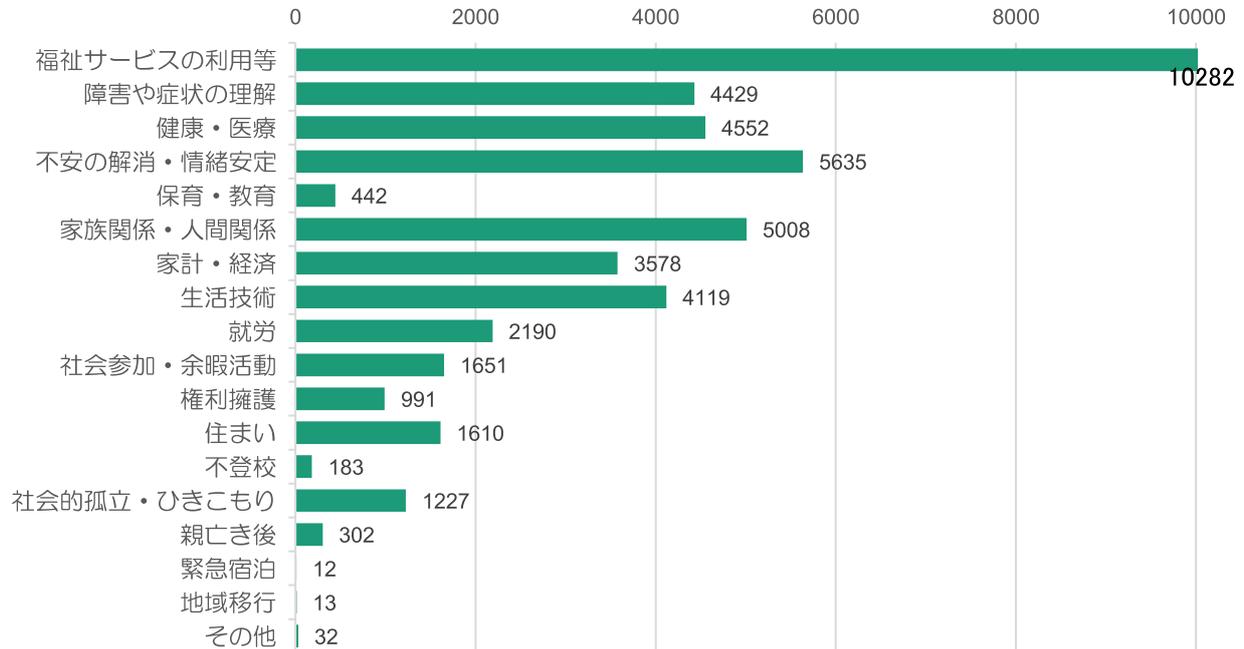
年度内に対応した相談者の障害種別内訳
(新規相談: 548名 / 合計コンタクト数: 16,709名)

障害種別で見ると精神障害、発達障害、高次脳機能障害など、精神科領域の相談者の割合が全体の60%以上になる。年齢層は幅広いが、20代~50代の相談者が多くを占める。

	新規相談(人数・割合)		全相談(コンタクト数・割合)	
視覚	6	1.0%	219	1.2%
聴覚・平衡機	3	0.5%	55	0.3%
音声・言語	1	0.2%	9	0.0%
肢体不自由	27	4.4%	850	4.6%
内部	7	1.1%	309	1.7%
知的障害	86	14.1%	3183	17.3%
精神障害(知的・発達を除く)	289	47.2%	9474	51.4%
発達障害	105	17.2%	2569	13.9%
難病等	11	1.8%	617	3.3%
重症心身障害	2	0.3%	11	0.1%
高次脳機能障害	10	1.6%	497	2.7%
なし	10	1.6%	128	0.7%
不明	55	9.0%	517	2.8%
精神障害・発達障害	394	64.4%	12043	65.3%
精神障害・発達障害・高次脳	404	66.0%	12540	68.0%

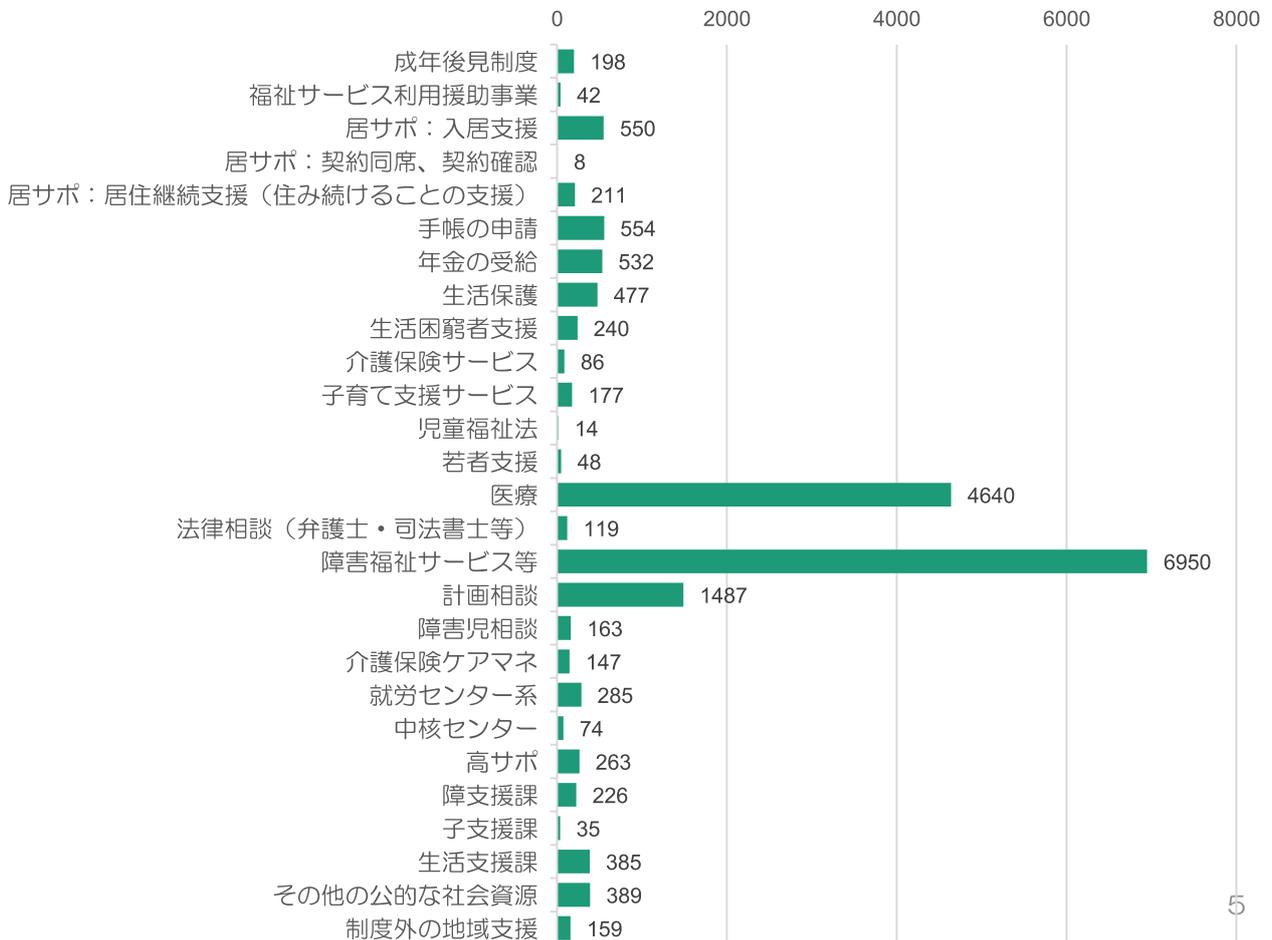
支援内容

相談内容からの支援の方向性としては障害福祉サービスの利用に向けた支援が最も多くなっている。
医療、経済、住まい、精神・情緒面、家族、人間関係に関連した支援も多く行っている。
昨年度より虐待関連の動きが増加しており権利擁護に関する支援数が増えている。
親亡き後の相談については、地域生活支援拠点のコーディネーターと連携した動きが増えてきている。



具体的な社会資源の活用に向けた支援内容

具体的な対応内容としては障害福祉サービスの利用に関する支援が多くなっている。
次に、医療関連への支援（通院、入院の調整や同行、訪問看護の利用調整等）が多くなっている。
高齢系、児童系、生活困窮など様々な社会資源と連携している



支援終了理由の内訳

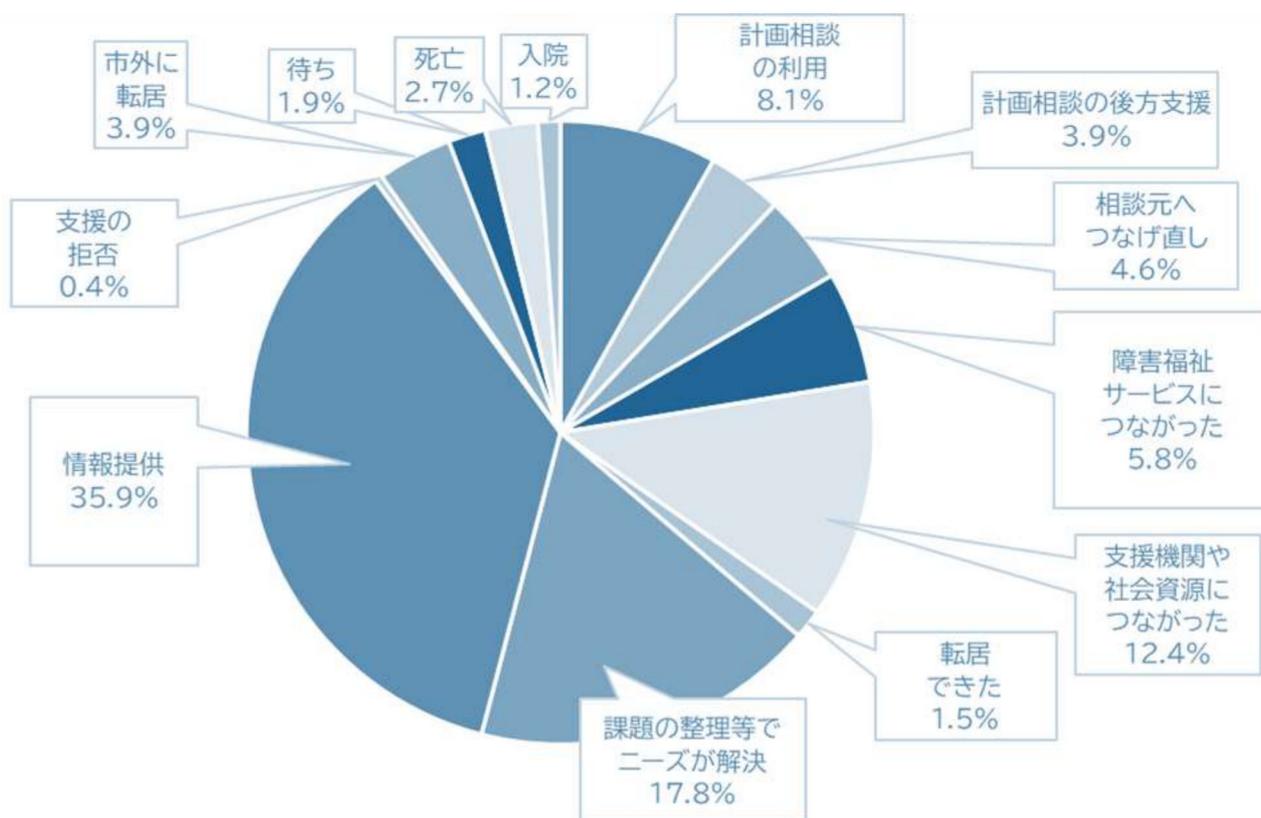
年度内の終了件数は233件になる

情報提供による終了は関係機関からの単発相談を含む短期間で終結する場合に多くなっている。

終了ケースの約3割が「計画相談の利用」「障害福祉サービスにつながった」「支援機関や社会資源につながった。」と、本人の支援体制が作られての終了となっている。

計画相談の利用での終了は約1割になるが年々微増している。

相談支援専門員からの相談も増えてきており「計画相談の後方支援」の件数も少しづつ増えてきている。



相談支援事業所等への支援に関する取組

定例GSVの実施に加え、相談支援事業所等の後方支援のための取組みの周知
計画相談等からの相談があった際や、計画相談が関わっている相談ケース
について、事業所訪問や来所により課題の整理や支援の役割分担等、後方支援を実施

相談支援事業所 × えくる

そのこと、
いっしょに
考えます。

基幹相談支援センターえくるでは、
地域の相談支援体制の強化、
関係機関同士のさらなる連携を目的
とし、相談支援事業所への支援など、
地域づくりを進めていきます。
お困りの時はご相談ください。



ケース相談

相談支援事業所からの 相談対応

電話、来所、事業所への訪問などで担当
しているケースについてのえくるの職員
が相談をお受けします。現状の整理、情
報提供などを通じ、いっしょに考えます。

所内会議、ミーティング への参加

相談支援事業所で行っている会議やミー
ティングにえくるの職員がオブザーバー参
加し、必要に応じて助言や情報提供を行いま
す

GSV (グループスーパービジョン)

定例GSVにてえくるの職員がファシリ
テーターを務めます

地域づくり

自立支援協議会との連携

自立支援協議会を通じて部会や関連会議と
共に研修等の企画実施をしていきます。地
域課題の発信も行います。

地域生活支援拠点との 連携

地域生活支援拠点等コーディネーターと、
定期的な情報交換を行い、地域の連携体制
の強化を図ります

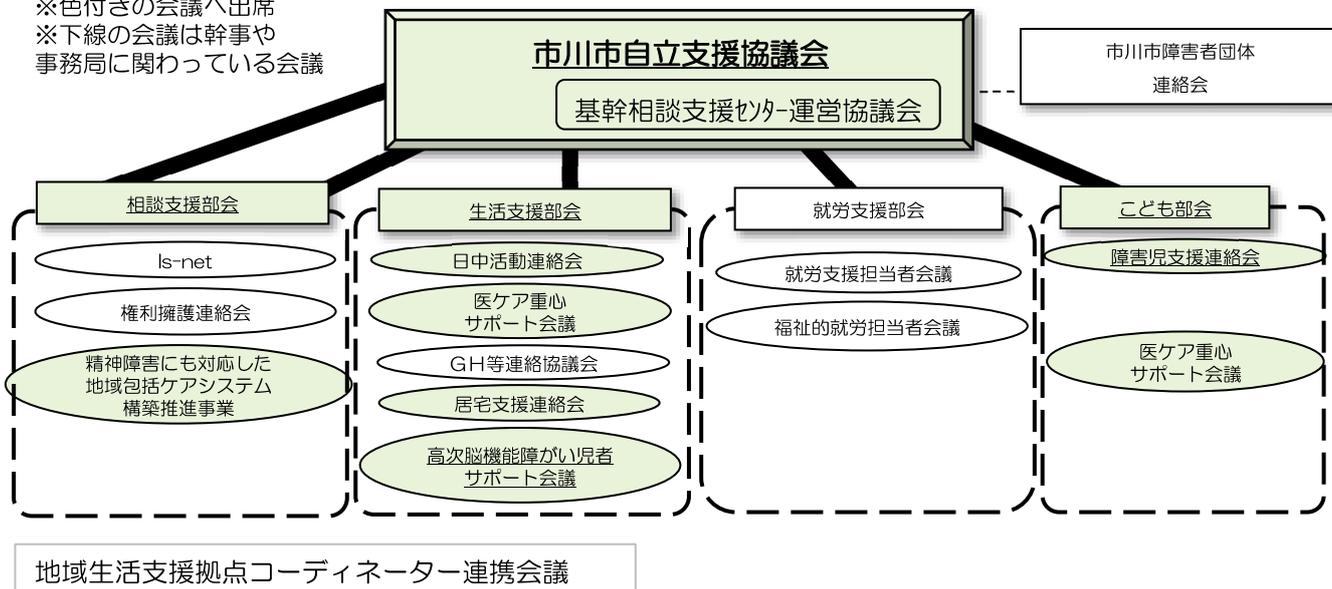
基幹相談支援センターえくる ☎047-702-5588

地域づくりに関する取組み

自立支援協議会への参加

自立支援協議会関連会議への出席のほか、公的な様々な会議に出席している。他にも関係機関と合同で地域課題にむけたプロジェクトにも取り組んでいる。

※色付きの会議へ出席
※下線の会議は幹事や事務局に関わっている会議



参加している会議	主な取組
相談支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ○幹事 ・関連会議の意見集約 ・セルフプラン軽減のための議論 ・障害児相談支援事業所を増やすための研修の企画実施
生活支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ○幹事 ・関連会議の意見集約 ・移動支援に関する意見交換会の実施 ・つながり交流研修の実施
日中活動連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・行動障害に関する事業所の支援力向上のための取組みの支援
居宅支援連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡会の運営についての支援 ・研修会等の企画支援
高次脳障がい児者サポート会議	<ul style="list-style-type: none"> ○事務局 ・事例検討会の実施 ・家族交流会の定期開催
医ケア重心サポート会議	<ul style="list-style-type: none"> ・マナフェス企画協力
こども部会	<ul style="list-style-type: none"> ○幹事 ・関係機関との情報共有、課題提起
障害児支援連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ○幹事 ・障害児通所事業所説明会の企画実施
日中サービス支援型グループホーム 評価に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ○評価チームリーダー ・チームメンバーとヒヤリングや意見集約の実施

市川市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム会議	会議をはじめるとあたっての課題整理 市内の精神障害に関する取組の集約、まとめ
地域生活支援拠点コーディネーターと基幹の連携会議	定期的に連携会議を実施。ケース連携の実施 拠点を中心とした地域づくりのための企画検討、整理
児童発達支援センター連絡会	市内の児童発達支援センターの連絡会に参加 地域づくりのための取組の整理、検討の実施
あいあいパーク	働いている当事者や、相談機関のみで関わっている方等へのフリースペースイベント。 がじゅまる+、くらっち、アクセス、いちされん、地域共生課と企画実施
いちかわ・うらやす若者サポート678	16～18歳の若年層への支援に関するネットワークづくりの取組み。課題共有や情報交換、地域に向けた取組みの検討
ソナエプロジェクト	8050世帯で主に知的障害がある方へのグループホーム利用に関するつなぎの仕組みづくりの検討と実施。 グループホーム支援ワーカー、市内の社会福祉法人、グループホーム事業者と連携し実施

関係機関・事業所等との会議、ネットワーク構築

【障がい者支援課との連携会議】
受理会議
連絡調整会議
障害者虐待連絡会議

【公的な会議】
要保護児童対策地域協議会
高齢者虐待防止実務者会議

【教育関連会議】
特別支援学校移行支援会議
須和田の丘支援学校運営協議会
特別支援教育連携協議会

【県内基幹相談支援センター関連会議】
千葉県基幹相談支援センター連絡会
東葛地区基幹相談支援センター連絡会

【地域課題に関する取組み】
ソナエプロジェクト 住まいの勉強会 678プロジェクト
マナフェス実行委員 場づくり会議 市川コミュニティ精神保健医療福祉会議(市コミ)
就業・生活支援センター地域意見交換会 児童発達支援センター連絡会
場づくり会議(あいあいパーク)

千葉県相談支援従事者研修・実施研修への協力

- ・相談支援従事者初任者研修
市川市、相談支援に関するオリエンテーション、グループワークの実施
- ・相談支援従事者現任者研修
主任相談支援専門員にも協力を得て実施
小グループに分けたケースレビューの実施

いちかわつながり交流研修

目的:地域で顔が見えるつながりを作る。
課題:人材定着。事業所の孤立防止。
企画:生活支援部会

キーワード: “地域の同期づくり”



①名刺交換とアイスブレイク

②グループワーク×2回（1回事業所ランダム、2回目地域の同期）

- 第1回 2022/02/17【昼】13:00-15:00 21名/17事業所 オンライン【先輩談】
- 第2回 2022/08/26【昼】15:00-17:00 48名/28事業所 きんぱく
- 第3回 2023/03/02【夕】18:00-20:00 72名/38事業所 教育会館【強行研修】
- 第4回 2023/09/15【昼】15:00-17:00 70名/55事業所 きんぱく【就部会共催】
- 第5回 2024/02/16【夕】18:00-20:00 17名/15事業所 全日警
- 第6回 2024/09/20【昼】15:30-17:30 55名/39事業所 きんぱく【就部会共催】
- 第7回 2025/03/07【夕】18:00-20:00 28名/19事業所 ニコット

あいあいパーク

目的:働いていたり、社会的孤立している障害等がある方のフリースペース
公園のようなフリースペース。当日のボランティアも募集
課題:働く障がい者の余暇支援、相談機関だけつながってる相談者のつなげ先
企画:就業生活支援センター、自立相談支援機関、重層、中核、基幹相談



①トークコーナー



②会場の様子



③もぐもぐコーナー（防災食体験）



④ネイル体験



⑤お絵描きの会

参加者:50名くらい

出席参加会議一覧

■自立支援協議会関連

月	会議	研修・企画
4月	<input type="checkbox"/> 678プロジェクト(4/16) <input checked="" type="checkbox"/> 市川市障害者団体連絡会(4/19) <input type="checkbox"/> 場づくり会議(4/26) <input type="checkbox"/> ソナエプロジェクト(4/15)	
5月	<input checked="" type="checkbox"/> 相談支援部会(5/9) <input checked="" type="checkbox"/> 重症心身障がい児者サポート会議(5/13) <input checked="" type="checkbox"/> 生活支援部会(5/14) <input type="checkbox"/> 678プロジェクト(5/21) <input checked="" type="checkbox"/> 高次脳機能障害児者サポート会議(5/28) <input checked="" type="checkbox"/> にも包括実務者会議(5/29) <input type="checkbox"/> ソナエプロジェクト(5/30)	<input checked="" type="checkbox"/> GSV(5/23) <input checked="" type="checkbox"/> IS-net総会・情報交換会(5/31) <input type="checkbox"/> 多職種・多分野いっしょに事例検討会(5/14)
6月	<input checked="" type="checkbox"/> 医療的ケア児等連絡会(6/13) <input checked="" type="checkbox"/> 日中活動連絡会(6/17) <input type="checkbox"/> いちされん地域意見交換会(6/28) <input type="checkbox"/> 678プロジェクト(6/18) <input checked="" type="checkbox"/> 障害児支援連絡会(6/28)	
7月	<input checked="" type="checkbox"/> 重症心身障がい児者サポート会議(7/1) <input checked="" type="checkbox"/> 生活支援部会(7/9) <input checked="" type="checkbox"/> 相談支援部会(7/11) <input type="checkbox"/> 678プロジェクト(7/12) <input checked="" type="checkbox"/> 基幹相談支援センター運営協議会(7/18) <input checked="" type="checkbox"/> にも包括圏域連携コーディネーター会議(7/22.23) <input checked="" type="checkbox"/> 高次脳機能障害児者サポート会議(7/23) <input checked="" type="checkbox"/> 子ども部会(7/26) <input type="checkbox"/> ソナエプロジェクト(7/1)	<input checked="" type="checkbox"/> GSV(7/25)
8月	<input checked="" type="checkbox"/> にも包括実務者会議(8/2) <input checked="" type="checkbox"/> 日中活動連絡会(8/19) <input type="checkbox"/> 678プロジェクト(8/20)	<input checked="" type="checkbox"/> GH 連絡協議会合同勉強会(8/2) <input checked="" type="checkbox"/> GSV(8/22) <input type="checkbox"/> 多職種・多分野いっしょに事例検討会(8/28)
9月	<input checked="" type="checkbox"/> 重症心身障がい児者サポート会議(9/2) <input checked="" type="checkbox"/> 地域生活支援拠点連携会議(9/4) <input checked="" type="checkbox"/> 生活支援部会(9/10) <input checked="" type="checkbox"/> 相談支援部会(9/12) <input type="checkbox"/> 678プロジェクト(9/17) <input checked="" type="checkbox"/> 高次脳障害児者サポート会議(9/24) <input type="checkbox"/> ソナエプロジェクト(9/2)	<input type="checkbox"/> 相談支援従事者初任者研修【実地研修】(9/5) <input checked="" type="checkbox"/> いちかわつながり交流研修(9/20) <input checked="" type="checkbox"/> 高次脳機能障害児者交流会(9/24) <input type="checkbox"/> メンタルサポートセンター職員勉強会～えくと居住支援(9/17)

出席参加会議一覧

■自立支援協議会関連

月	会議	研修・企画
10月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 重症心身障がい児者サポート会議(10/3) ■ 市川市移動支援オンライン意見交換会(10/7) □ 678プロジェクト(10/15) ■ 日中活動連絡会(10/21) ■ 障害児支援連絡会(10/24.25) ■ 移動支援オンライン意見交換会(10/25) ■ にも包括圏域連携コーディネーター会議(10/31) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 障がい児支援連絡会 事業所合同説明会(10/24.25) ■ にも包括圏域連携コーディネーター会議(10/29) ■ 市川市における医療的ケア児の緊急時対応の事例検討会(10/17) ■ GSV(10/24) ■ IS-net研修会～虐待防止研修～(10/24) □ ソナエプロジェクトGH説明会(10/24)
11月	<ul style="list-style-type: none"> □ 地域生活支援拠点連携会議(11/7) ■ 重症心身障がい児者サポート会議(11/11) ■ 生活支援部会(11/12) ■ 相談支援部会(11/14) ■ 日中活動連絡会(11/14) □ ソナエプロジェクト(11/18) □ 678プロジェクト(11/19) □ あいあいパーク運営会議(11/21) ■ 高次脳障害児者サポート会議(11/26) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 現任者研修(11/29) □ 相談支援従事者現任者実地研修(11/29) □ 多職種・多分野いっしょに事例検討会(11/28)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日中活動連絡会(12/16) ■ にも包括構築推進事業実務者会議(12/16) □ 678プロジェクト(12/17) ■ 自立支援協議会(12/20) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ GSV(にも包括)(12/19) ■ マナフェス(12/21) ■ IS-net研修会(12/19)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相談支援部会(1/9) ■ 生活支援部会(1/14) ■ 重症心身障がい児者・医療的ケア児等サポート会議(1/20) □ 678プロジェクト(1/21) ■ 市川市にも包括推進協議会(1/23) ■ にも包括構築推進事業代表者会議(1/30) ■ こども部会(1/31) □ ソナエプロジェクト(1/16) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ GSV(1/23) ■ 高次脳機能障がい児者家族交流会・ミニ勉強会(1/28)
2月	<ul style="list-style-type: none"> □ 特別支援連携協議会(2/5) ■ 居宅支援連絡会(2/13) ■ 日中活動連絡会(2/17) □ 678プロジェクト(2/18) ■ 障害児支援連絡会(2/21) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 多職種・多分野・いっしょに事例検討会(2/28) ■ GSV(2/27) □ あいあいパーク(2/22) ■ 相談支援部会研修会(2/26)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 重症心身障がい児者・医療的ケア児等サポート会議(3/3) ■ 生活支援部会(3/11) ■ 相談支援部会(3/18) □ 678プロジェクト(3/18) ■ 高次脳障害児者サポート会議(3/26) □ ソナエプロジェクト(3/28) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ いちかわつながり交流研修(3/7) ■ 相談支援部会研修会(3/13) ■ にも包括勉強会(3/15)